

労働と看護の質向上のためのデータベース(DiNQL)事業

看護実践の可視化・看護政策提言に必要な 看護の大規模データベース構築に向けて ～新たなDiNQLが始まります～

2022年度に本事業に参加されていない 病院様向け説明会

日本看護協会 医療政策部



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

本日本話すること

1. 看護の質評価の重要性と
看護の大規模データベースの必要性
2. 看護の質評価とDiNQLについて
3. 2023年度参加募集について
4. 質疑応答



本日は話すること

1. 看護の質評価の重要性と
看護の大規模データベースの必要性
2. 看護の質評価とDiNQLについて
3. 2023年度参加募集について
4. 質疑応答

ディンクル DiNQL事業(労働と看護の質向上のためのデータベース事業) のこれまでの取り組み

- 日本看護協会では、2015年度より、看護職が健康で安心して働き続けられる環境整備と看護の質向上を目指し、臨床現場でのデータを活用した看護の質改善活動を支援するためにDiNQL事業に取り組んでいます。
- 2022年度までに延べ**900病院**が参加しています。
(※2022年度参加病院数:362病院)
- データを活用した看護の質改善活動を支援する方法として、ベンチマーク評価ができるITシステムを提供しています。現場のニーズに応じて、データ項目の追加やベンチマーク機能の強化を行っています。
- また、本事業に蓄積されたデータは政策提言のためのエビデンスとしても活用されています。

医療・看護の質向上への期待の高まり

- 少子超高齢社会による疾病構造の変化など医療を取りまく状況や患者・国民の意識の変化から、医療の質向上は、国民や医療提供者にとって大きな関心となっています。
- 国では、日本の全病院でデータに基づく医療の質向上を図る取り組みが行われるよう、「医療の質向上のための体制整備事業」を開始しています。
- 日本医療機能評価機構の病院機能評価の評価項目には、看護の質評価事業への参画が盛り込まれました。
「看護においては、継続的質改善のための取り組みとして看護の質評価事業へ参画し、データを活用した分析を行い、積極的に改善活動に取り組んでいけば適切である」

今後は一層、データに基づく、
看護の質評価・改善を行うことが求められていきます。

DiNQLデータの政策提言に向けた活用

DiNQLに蓄積されたデータは、臨床現場の看護の質改善活動への活用とともに、診療報酬改定等の政策形成の場でも活用されています。

例)認知症ケア加算における認知症看護認定看護師等の評価 <2020年改定>

認知症ケア加算2(当時、複数の9時間以上の研修を修了した看護師を各病棟に配置)の算定病棟で病院内に認知症看護認定看護師等の「専門性の高い看護師」が配置されている場合は、配置されていない場合と比べて身体的拘束の実施が低減したことを数値で示した結果、2020年度診療報酬改定において評価体制が変更され、「専門性の高い看護師」の配置と、研修修了者の病棟配置を両方行った場合の評価の新設につながりました。

その他にも、国の様々な検討会等で看護職の立場から発言する際や政策要望書において、看護実践や労働状況、看護職員配置等の実態を示すデータとして活用しています。

看護実践の可視化・看護政策提言に向けた 看護の大規模データベースの必要性

- 政策形成の場では、効率的・効果的な医療・看護の提供に向けて、信頼性が高いエビデンスの提示が強く求められ、大規模データをもとに議論されています。そして、今後この傾向はさらに強くなっていきます。
- しかし、現在日本には看護に関する大規模データベースはなく、看護実践の可視化やエビデンス構築のための体制整備は十分とはいえません。
- 今後の社会において、看護の価値への理解・評価を得ていくには、看護実践を可視化できる大規模データベースの充実が不可欠です。

日本看護協会はデータに基づく看護の質の向上・労働環境の改善に向けた政策提言を強く推進するために、DiNQLが日本の看護の大規模データベースに発展することを目指しています。
そのためには、国内の全ての病院のDiNQL事業への参加が重要です。

2023年度からのDiNQLのリニューアル

- DiNQL事業は、日本を代表する看護の大規模データベースの構築に向けて、参加病院を全国規模に拡大するため、2023年度から参加費を無料にします。
- また、データ収集・入力の負担が大きいにも関わらず、利活用ができていないといった参加病院からのご意見を踏まえ、「参加・継続しやすい(負担が少なく、利活用しやすい)」をコンセプトに、ITシステムの見直しを行いました。

本日本話すること

1. 看護の質評価の重要性と
看護の大規模データベースの必要性
2. 看護の質評価とDiNQLについて
3. 2023年度参加募集について
4. 質疑応答

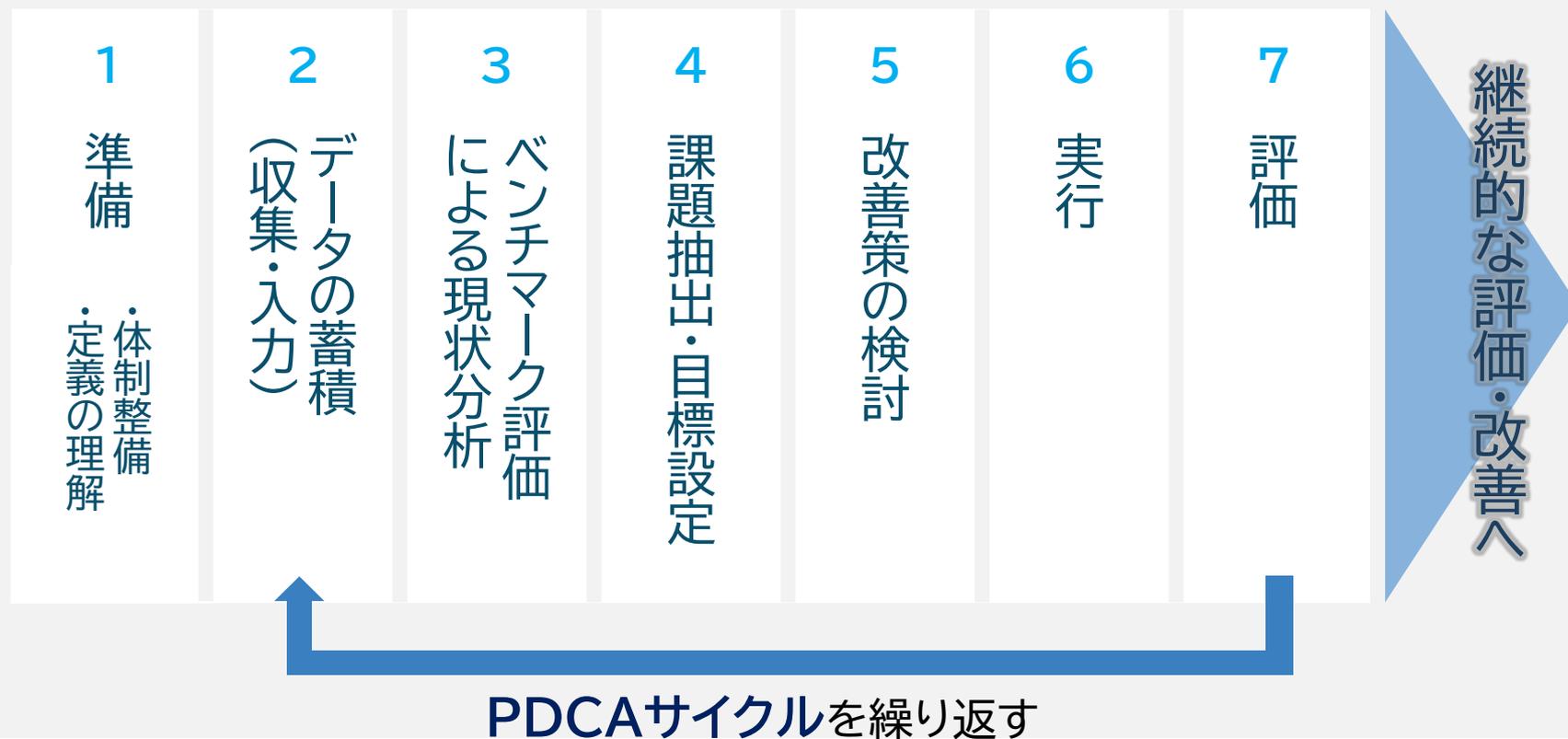
DiNQL事業の目的

看護職が健康で安心して働き続けられる環境整備と看護の質向上のために、

- ①収集したデータを政策提言のためのエビデンス構築に活用し、看護政策の実現を目指す
- ②看護実践を可視化し、データに基づく改善活動の強化を図る

労働と看護の質向上にむけた、7つのステップ

- 看護の質評価・改善の取組みでは、院内の体制準備を行い、データの収集・入力、データに基づく現状分析・課題解決に向けた取組み、その評価をし、継続的な評価・改善へと繋げることが重要です。
- DiNQLは、看護の質向上に向け、「データの蓄積」「現状分析」「課題抽出」を支援するツールです。



DiNQLで扱うデータ項目

- 医療の質評価の枠組みの1つである[構造][過程][結果]をもとにデータ項目を整理しています。
- データ項目は、労働と看護の質に関する目的別に整理された12のカテゴリでまとめています。
- 年に1度の入力項目と、月1度または定期的に入力する項目があります。
- 自病院・病棟の課題に応じて入力する項目を自由に選択可能です。

カテゴリ	項目数	カテゴリ	項目数
病院・病棟の基礎情報	32項目	患者像・看護職の労働状況	28項目
診療報酬の算定状況	36項目	褥瘡ケアの取組み	10項目
感染対策の取組み	8項目	転倒・転落防止の取組み	6項目
医療安全の取組み	8項目	身体的拘束の状況	2項目
入退院支援・外来の状況	14項目	精神病床の状況	11項目
産科病棟の状況	11項目	小児病棟の状況	6項目

約6割の項目は初回入力以降、自動的にコピーされます

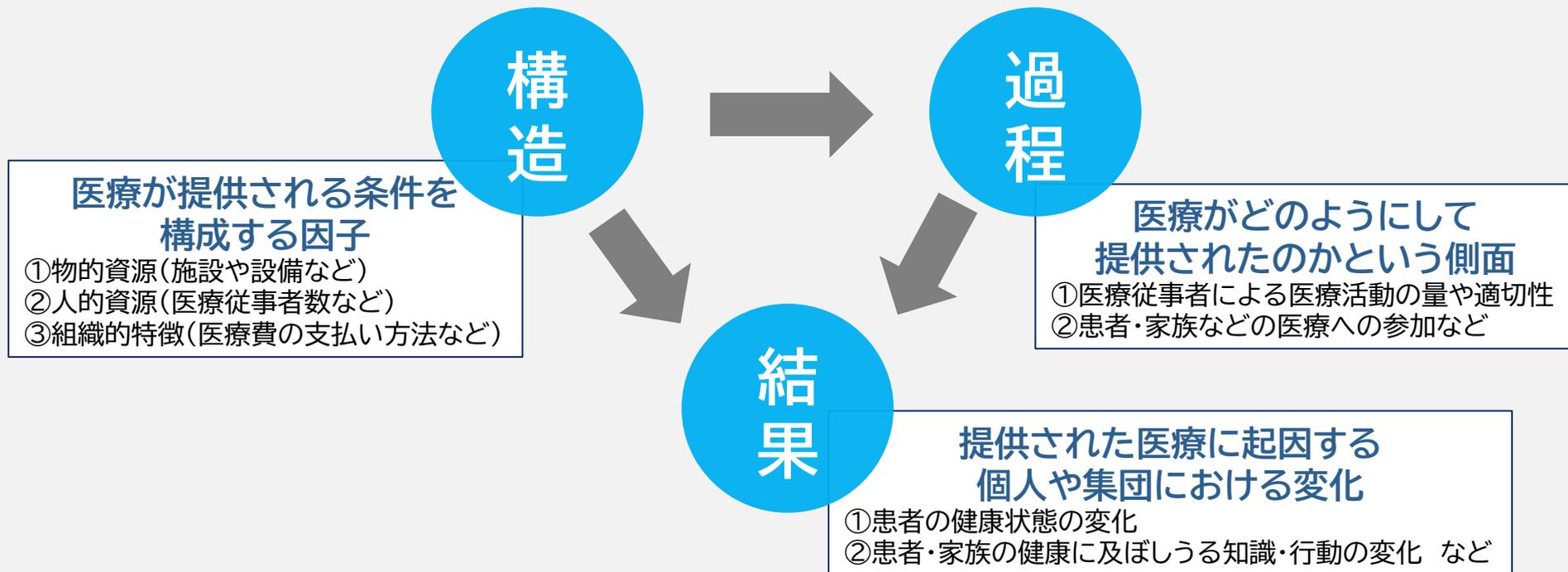


質を評価する3つの側面

医療の質(看護の質、労働の質)は、

「**構造**(ストラクチャー)」「**過程**(プロセス)」「**結果**(アウトカム)」

から評価できる(Donabedian,1980)



データの入力方法

- DiNQLのデータの入力方法には、以下の2つの方法があります。

入力方法	特徴
①入力画面を使って個別にデータを入力する方法	<ul style="list-style-type: none"> ● データ入力の画面上に、データ項目の説明が表示される ● 自動計算の項目はその場で結果を参照できる 等
②全病棟のデータをエクセルに入力して、一括でシステムに登録する方法 (Excelアップロード機能)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全病棟のデータが一覧で参照できるため、入力間違いや外れ値に気付きやすい ● 1つの画面内から複数のカテゴリのデータを入れられるため、入力の負担を軽減できる 等

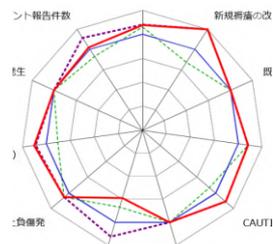


※データ収集の負荷軽減とデータ精度の向上を目的に、以下の3企業から電子カルテ等からDiNQLデータを抽出できるオプション機能やシステムが販売されています。
(富士通株式会社、プライアルメディカルシステム株式会社、株式会社ソフトウェア・サービス)

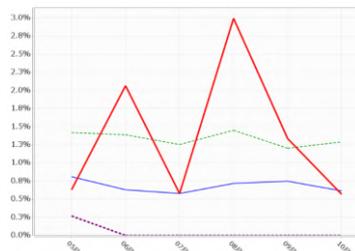
看護実践を評価するための機能

- DiNQLには、自院と同規模・同機能を備える他病院・病棟を比較することで、看護実践を評価できる機能(ベンチマーク評価)があります。
- ベンチマーク評価の機能では、入力したデータをもとに、患者アウトカム(褥瘡、感染、転倒・転落、誤薬)別に、病院・病棟の強み・弱みや、取組み成果の経時的な変化、他病院の中での立ち位置等を把握することができます。

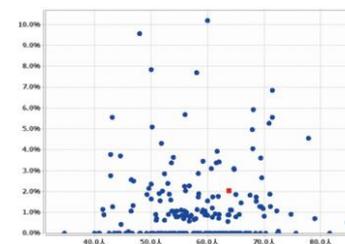
レーダーチャート



時系列推移



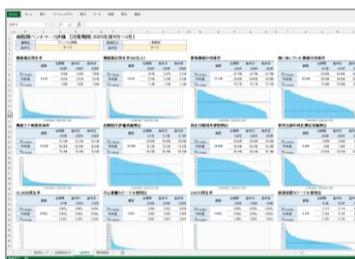
散布図



かんたんダッシュボード



病院間ベンチマーク評価レポート



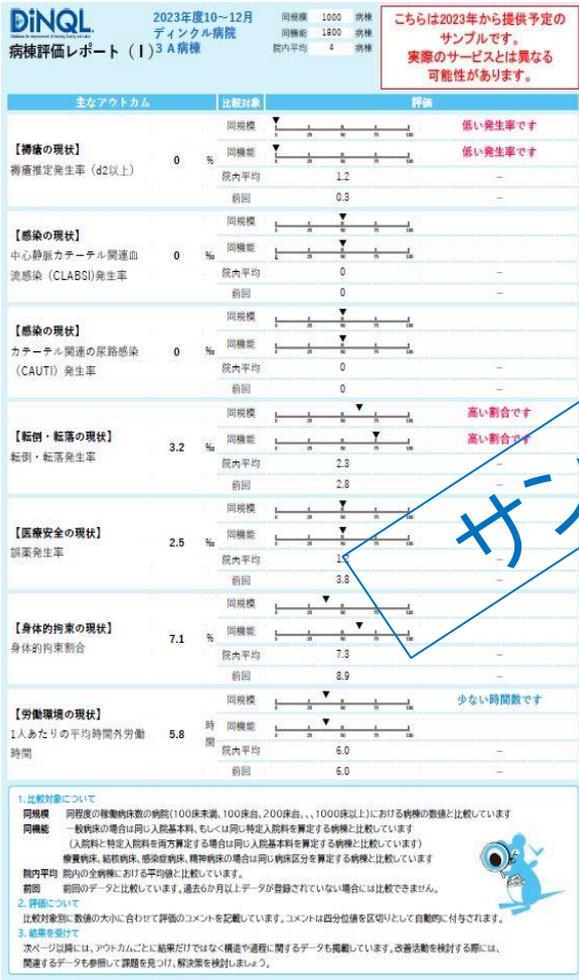
病院・病棟評価レポート(新)



「病院評価レポート」「病棟評価レポート」 病院・病棟の現状の概要を確認

2023年度
から開始

病棟評価レポート I



病棟評価レポート II



○2023年度より、病棟ごとの状況がわかる「病棟評価レポート」と、参加病棟全ての状況を俯瞰できる「病院評価レポート」が定期的に配信されます(年4回)。※四半期に最低1回のデータ入力が必要です。

○レポート I では、DiNQLでよく活用されるアウトカムに関する現状、レポート II では、レポート I のアウトカムごとに、構造・過程・結果に沿って整理された結果を示します。

※画像は開発中のイメージイラストであり、画面内の数値および文章は全てダミーです。実際のサービスとは異なる可能性があります。

ベンチマーク結果の活用

- 病院・病棟の現状把握・課題発見には、ベンチマーク評価結果を個別に確認するのではなく、複合的に分析することが重要です。
- 例えば、「病院評価レポート」「病棟評価レポート」から、特に課題となっているアウトカムを把握し、「レーダーチャート」「時系列推移」「散布図」を確認することで、より深いベンチマーク評価の分析ができます。

自病院・病棟の改善活動促進に向けた データの第三者提供

2023年度
から順次開始

第三者提供開始の目的

- ①研究者等へデータを提供し、第三者の支援を受けることでデータの読み解きや利活用を促進し、看護の質改善活動を充実させるために、参加病院様のご自身の判断で研究者等に自病院のデータ等を提供できるようにします。
- ②都道府県看護協会・行政が政策提言・事業企画に活用することで、政策提言や労働環境等の改善につなげるために、本会から都道府県看護協会・行政に対し、集計値の提供を開始します。(同意いただけただけの病院のみが集計値の対象となります。)

2024年度以降に開始を予定していること

- 2024年度以降、DiNQLデータのさらなる周知・活用そして看護の質向上・政策提言への活用に向け、研究者へのデータ提供を検討しています。
- 2023年度にはデータ提供の運用について検討し、その結果については、改めて皆様にご説明の機会を設けます。

DiNQL参加病院による取り組み事例

日本看護協会公式ホームページでは、DiNQL事業に参加している病院の中から、実際の取り組み事例を一部紹介しています。DiNQL事業参加病院がどのようにデータを活用し取り組みを進めているか、ぜひご参考になさってください。

(<https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/database/dinql/case/index.html>)

参加病院の取り組み事例紹介

このページでは、DiNQL事業に参加している病院の中から、実際の取り組み事例を一部紹介しています。DiNQL事業参加病院がどのようにデータを活用し取り組みを進めているか、ぜひご参考になさってください。

事業参加後、3年間の活動 【社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院(新潟県)】 2016年からDiNQL事業に参加。看護師長のマネジメントツールとしてDiNQLを活用するために委員会を発足し、データ収集からベンチマーク結果の活用までを支援しています。(2020年10月9日掲載) ●記事の全文はこちらからご覧いただけます。	看護部の意識改革 【医療法人社団清和会笠岡第一病院(岡山県)】 2016年からDiNQL事業に参加。「院内部審目標報告会」などの場で取り組みを共有することで、病棟運営の活性化、職員のモチベーション向上、評価指標を活用した業務改善などにつなげています。(2020年9月26日掲載) ●記事の全文はこちらからご覧いただけます。
転倒・転落予防に向けたDiNQLデータの活用 【静岡市立静岡病院(静岡県)】 2015年からDiNQL事業に参加。DiNQLデータと院内のデータから、転倒・転落の発生状況に合わせた研修会の開催に取り組んだ結果、転倒・転落発生件数の減少につながりました。(2020年9月11日掲載) ●記事の全文はこちらからご覧いただけます。	時間外労働時間減少への取り組み ～DiNQLを活用して～ 【国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院(神奈川県)】 2013年からDiNQL事業に参加。DiNQLのデータを目標管理に活用し、時間外労働時間の減少に取り組んだ結果、効果的な業務改善と時間外労働時間の短縮につながりました。(2020年3月26日掲載) ●記事の全文はこちらからご覧いただけます。

日本看護協会機関誌「看護」に掲載された取り組み事例一覧

例)労働と看護の質改善への活用

転倒・転落防止に向けた勤務体制の見直し

急性期から回復期に転換した病棟では、夜間の看護職員数が少なくなり、転倒・転落が増えました。DiNQLデータや院内のインシデントレポートから、転倒・転落発生率や患者像について機能転換前後で比較し、日常生活に援助を要する患者の増加や、転倒・転落が多く発生している時間帯を把握しました。

これらをもとに、看護管理者は転倒・転落が多い時間帯へ看護職員が増員できるよう勤務体制を見直し、リハビリスタッフの時差出勤を交渉・実現したことで、転倒・転落発生率の減少につながりました。

本日は話すること

1. 看護の質評価の重要性と
看護の大規模データベースの必要性
2. 看護の質評価とDiNQLについて
- 3. 2023年度参加募集について**
4. 質疑応答

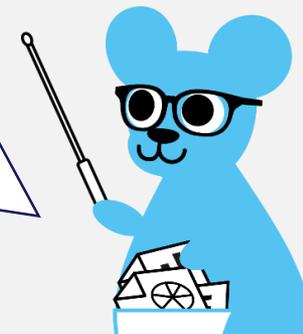
2023年度
から開始

トライアル機能 参加前にDiNQLシステムを体験できます

これまではITシステムを直接触って体験できる環境がなく、参加を検討するにあたり知りたい情報を十分に提供できていませんでした。

そこで、DiNQL事業に参加する前に、操作方法やベンチマーク機能の確認・体験ができる機能を**2023年7月**から提供します。

- ・画面動作
 - ・データ入力の体験
 - ・ベンチマーク結果の表示
- （他施設との比較体験も可能です。ただし、実際の数値とは異なり、本会が用意したダミーの数値です）等
を体験できます



トライアル機能をご活用いただき、DiNQL事業への参加
をご検討ください。

参加募集の流れ

1)対象 象：すべての病院

2)募集期間： 2023年3月～6月 ※トライアル機能から参加する場合は、7月以降でも本番システムに移行できます

3)参加費 ： 無料

4)主なスケジュール

新たなDiNQLの
システム開始

3月 4月 5月 6月 7月 8月以降

募集期間(3月～6月)

①トライアル機能を利用しない
本番システムへの参加の申込み

申込完了後、順次
病院個別のID・パスワード
を発送

②トライアル機能から
利用する
まずはトライアル機能から体験し、
本参加を検討

トライアル用の
ID・パスワードを発送

システムの利用開始(7月以降)

新ITシステムの
利用開始

トライアル用
ITシステムを
体験

本番
システム
への申込み

本申込み後、
本番システム用の
ID・パスワードを
発送

※上記期間以外で参加申込、トライアル機能の体験のご希望がございましたら、
DiNQL事務局までお問い合わせください。

DiNQL事業への申込方法①

日本看護協会ホームページ ▶ 看護実践情報 ▶ 労働と看護の質向上のためのデータベース事業 ▶ 病院の皆さまへ ▶ 参加申し込み手続き

2023年度事業実施要項や基本条件、参加同意書も掲載します

※参加申し込みのページは現在、更新作業中です。

2023年3月の募集開始前には閲覧可能になります。

参加申し込み手続き | 日本看護協会

https://www.nurse.or.jp/test/nursing/practice/database/hospital/procure/index.html

生きたるをもとに、つくる。 日本看護協会

看護実践情報

参加申し込み手続き

事業実施要項、基本条件等

2022年度事業の実施要項、および基本条件等はこちらをご覧ください。

- 2022年度事業実施要項 [PDF 443KB]
- 事業に関する基本条件 [PDF 228KB]
- 参加同意書 [PDF 24KB]

申し込み手続きの詳細

初めてDiNQLに参加する場合だけでなく、前年間に引き続き参加する場合や、以前DiNQLに参加されていた場合にも手続きが必要となります。

※ 年度途中でも参加条件の変更が可能です。

事業実施要項、基本条件等

2023年度事業の実施要項、および基本条件等はこちらをご覧ください。

- 2023年度事業実施要項 [PDF 443KB]
- 事業に関する基本条件 [PDF 228KB]
- 参加同意書 [PDF 24KB]

DiNQL事業への申込方法②

申込みの手続き

1. 申し込み専用サイトから病院や病棟の基礎情報の登録

病院基礎情報

…医療機関コード、病院名、住所、電話番号、設置主体、稼働病床数、
病院機能、全病棟数

担当者情報

…氏名、職位、メールアドレス

参加病棟情報

…病棟名、病床区分、病床機能、主な診療科等

2. 参加同意書を郵送

参加同意書をダウンロードし、施設長の署名もしくは記名捺印の
うえ、本会担当部署まで郵送。

本日は話すること

1. 看護の質評価の重要性と
看護の大規模データベースの必要性
2. 看護の質評価とDiNQLについて
3. 2023年度参加募集について
- 4. 質疑応答**

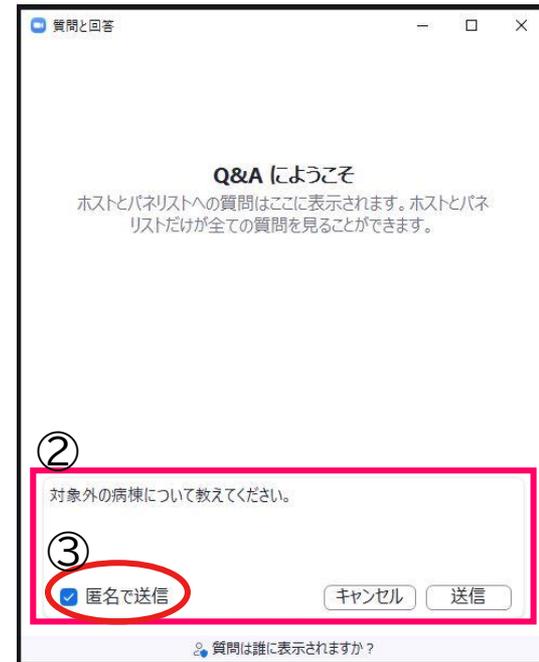
ご質問は【Q&A】機能をご利用ください

①画面下の【Q&A】をクリック



② 右記画面の赤枠部分にご入力ください。

③ 質問内容を画面共有します。質問者名が表示されますが、「匿名で送信」にチェックすることで匿名での質問が可能です。



本日は「DiNQL事業 2023年度参加希望病院向け説明会」にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

労働環境の整備と看護の質向上及び、日本の看護の大規模データベース構築に向け、ぜひ、DiNQL事業をご活用ください。

ご不明な点は担当部署までお問い合わせください

【担当部署】日本看護協会 医療政策部 看護情報課

TEL:03-5778-8495

Email:database@nurse.or.jp

